

2021年7月30日  
株式会社三菱UFJ銀行

## 株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーションで「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一（以下、当行））は、株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション（代表取締役 取締役社長 村尾 修（以下、当社））との間で、ローン・マーケット・アソシエーション<sup>①</sup>等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるローン契約（以下、本契約）を、2021年7月19日に締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件とSPTに対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

本契約では、「2030年度までに、CO<sub>2</sub>排出量（総量ベース、スコープ1,2）を、2018年度実績比30%以上削減するマイルストーンとして、2025年度までに2018年度比15%削減」をSPTとして設定し、SPT達成状況に応じて、優遇金利が適用されるインセンティブが付与されています。

本契約では、株式会社日本格付研究所より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定したSPTの合理性について第三者意見を取得しています。

本契約のSPTは、当社のサステナビリティ戦略である「GY環境長期目標2030」を遂行する上で重要な役割を担っております。CO<sub>2</sub>排出量の削減目標は当社にとって意欲的な目標設定であり、脱炭素社会実現への貢献、持続可能性の改善に結び付くものとして、意義の深い取り組みと考えます。

### 本ローンの概要

契約締結日	2021年7月19日
金額	18億円
資金用途	事業資金

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 60 ヶ国以上約 630 機関が加盟。

以 上